

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 茨城県 】

1 実践テーマ	【V・III】				
2 実施対象者	境町立境小学校 第3学年・2クラス・71人 第4学年・3クラス・85人				
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (体育・総合的な学習の時間) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )				
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツに関係している方を講師として招聘し、ブラインドサッカー及びアンプティサッカーの講演会や体験授業を通して、その競技の認知及び理解を促進する。</li> <li>・パラスポーツを通して、相手を思いやる心の育成を図る。</li> </ul>				
5 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラスポーツに関係している方を講師として招聘し、ブラインドサッカー及びアンプティサッカーの講演会や体験授業を実施する。講演会では、障害のある方が行っているサッカーの種類などから、ブラインドサッカー及びアンプティサッカーのルールなどについて指導を受ける。体験授業では、目隠しをしてブラインドサッカーを、松葉つえを使用してアンプティサッカーを体験する。</li> <li>・体育や総合的な学習の時間を活用して、継続的にブラインドサッカーを体験し、どのような声かけをすれば、目隠しをしている友だちに指示が伝わるかを体験して、相手を思いやる心を育成する。</li> </ul> <p>【児童へのアンケート】</p> <p>ブラインドサッカー、アンプティサッカーを知っていましたか？</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>知っている</td> <td>5.8%</td> </tr> <tr> <td>知らなかった</td> <td>94.2%</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ブラインドサッカーの導入時</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アンプティサッカー</p> </div> </div>	知っている	5.8%	知らなかった	94.2%
知っている	5.8%				
知らなかった	94.2%				

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラインドサッカー及びアンプティサッカーを指導していただける講師を招聘したことで、児童の興味関心が高まった。</li> <li>・継続的にブラインドサッカーを体験したために、どのように声をかけていけば、目隠しをした友だちに状況を説明することができるのかを体験したことで、相手への声かけが丁寧になり、思いやる心が育成できた。</li> </ul> <p>【児童へのアンケート】</p> <p>今回の授業を通して、ブラインドサッカーやアンプティサッカーを理解できましたか？</p> <table border="1" data-bbox="507 421 1059 495"> <tr> <td>できた</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>できない</td> <td>0%</td> </tr> </table> <p>今回の体験で、ブラインドサッカーやアンプティサッカーは、難しかったですか？</p> <table border="1" data-bbox="507 568 1059 642"> <tr> <td>難しい</td> <td>62.9%</td> </tr> <tr> <td>難しくない</td> <td>37.1%</td> </tr> </table> <p>【児童の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブラインドサッカーでは、どんな声かけをすれば、パスが通るのかか難しかった。</li> <li>・アンプティサッカーでは、普段ボールをける足をけがした足にしたが、夢中になっているとけがをした足でボールを蹴っていた。</li> <li>・アンプティサッカーでは、松葉づえでバランスをとるのが難しかった。</li> </ul>	できた	100%	できない	0%	難しい	62.9%	難しくない	37.1%
できた	100%								
できない	0%								
難しい	62.9%								
難しくない	37.1%								
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4学年の総合的な学習の時間のテーマが、福祉教育であったため、この事業と関連付けて実施した。</li> <li>・第3学年は、体育主任がいる学年のため、体育主任の要望もあったため実施学年にした。</li> <li>・どちらの学年も先生方から、児童に体験させたいとの要望を受け、開催学年を決定した。そのため、先生方の児童への事前指導（アイマスク体験、ブラインドサッカーボールに慣れる）を積極的に実施し、講師指導の日を迎えることができた。</li> </ul>								
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入時では、パラスポーツに関係している方を講師として、招聘した方が児童の興味関心を高めることができると考える。しかし、講師を見つけることが、大変難しい。講師の紹介を本事業事務局にお願いできればと考える。</li> </ul>								
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度体験した3年生が4年になるため、総合的な学習の時間と関連付けた取組を展開し、全児童に広められるように工夫していきたい。</li> </ul>								